

SWIFTボードメンバーレポート

～スイフト理事・理事会について～
～決済システムとスイフトの活用について～

2008年7月4日

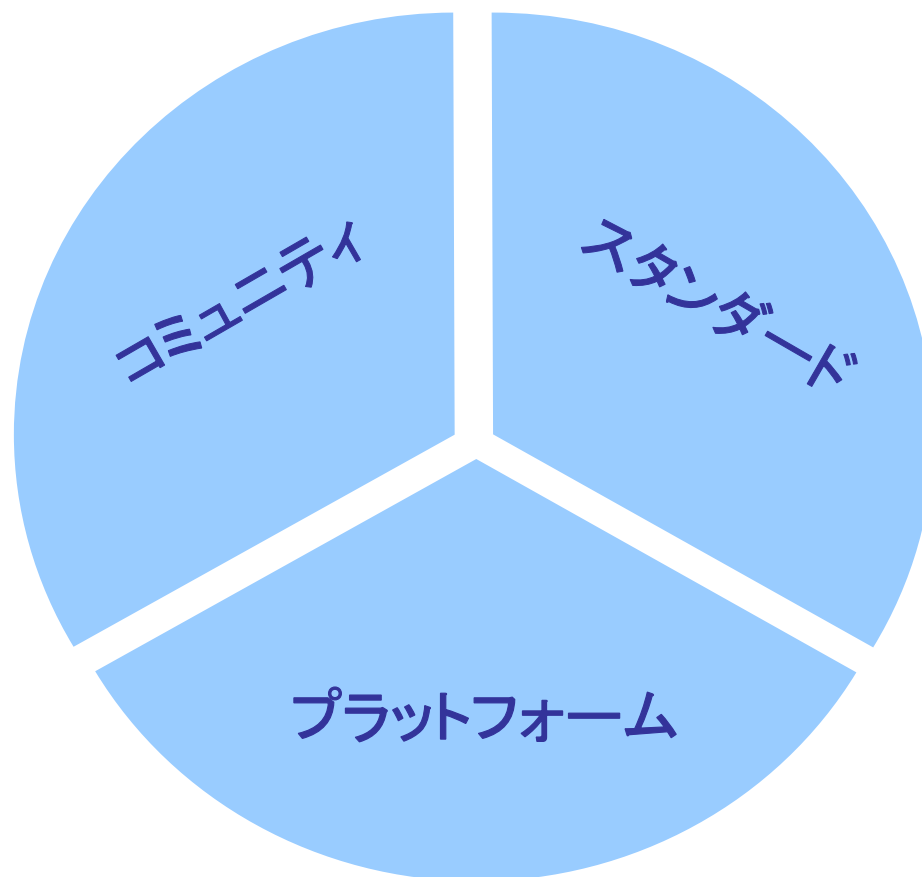


日本代表SWIFT理事



決済事業部長 上総英男

スイフトの三本柱



三菱東京UFJ銀行

スイフト理事 & 理事会 ①

- スイフトのユーザー・株主
 - 稼動国200超、全世界ユーザー数8,300超、株主数2,200超
 - 本邦ユーザー数257、株主数122(シェア3.0%)
- スイフトのガバナンス
 - 各国株主(もしくは関連する各国組織)出身の理事25名から構成される理事会を組織
 - 理事会は経営執行にあたるLeadership Councilを監督
- 理事の選出
 - 各国のナショナル・メンバー・グループが理事候補者を推薦
 - 6月の年次株主総会で正式に承認
 - 任期は3年間で再選可



スワフト理事 & 理事会 ②

◆ 理事会の定員 25名

順位	国名	理事数
1	米国	2名
2	ドイツ	2
3	英国	2
4	フランス	2
5	スイス	2
6	ベルギー	2
合計		12

+ 3名

南アフリカ、ノルウェー、
シンガポール 各1名

◆ 理事選出基準

- ①上位6ヶ国:2名
- ②上位7~16位:1名
- ③その他推薦枠:3名以下

理事長

Mr. Yawar Shah(米国)

副理事長

Mr. Stephan Zimmermann(スイス)

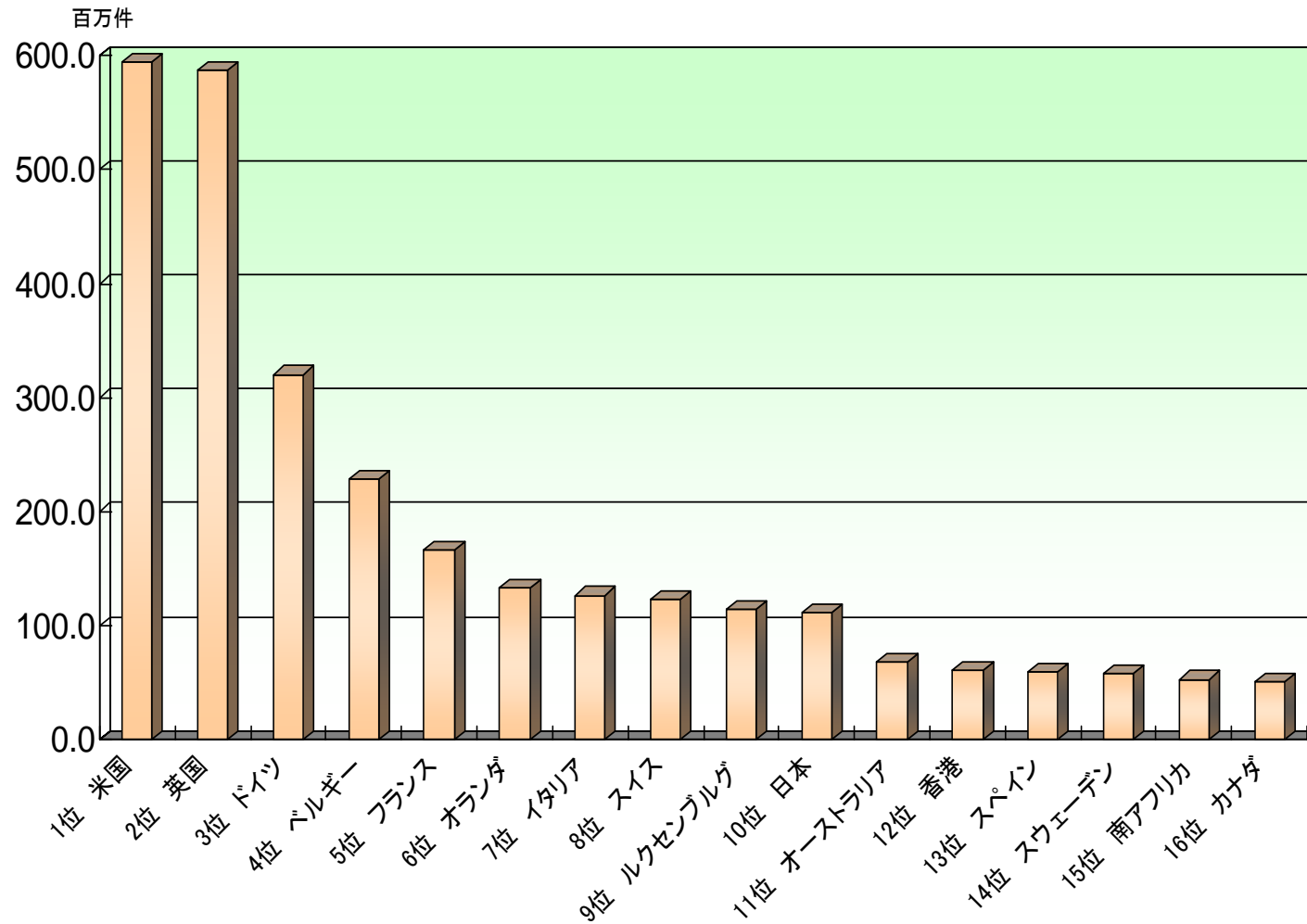
順位	国名	理事数
7	オランダ	1名
8	イタリア	1
9	日本	1
10	ルクセンブルグ	1
11	スウェーデン	1
12	香港	1
13	カナダ	1
14	スペイン	1
15	オーストリア	1
16	オーストラリア	1
合計		10

* 順位は2008年4月国別総株式数ベース、各国の理事数枠は2006年5月の理事会で決定。



三菱東京UFJ銀行

2007年通信量 国別ランキング

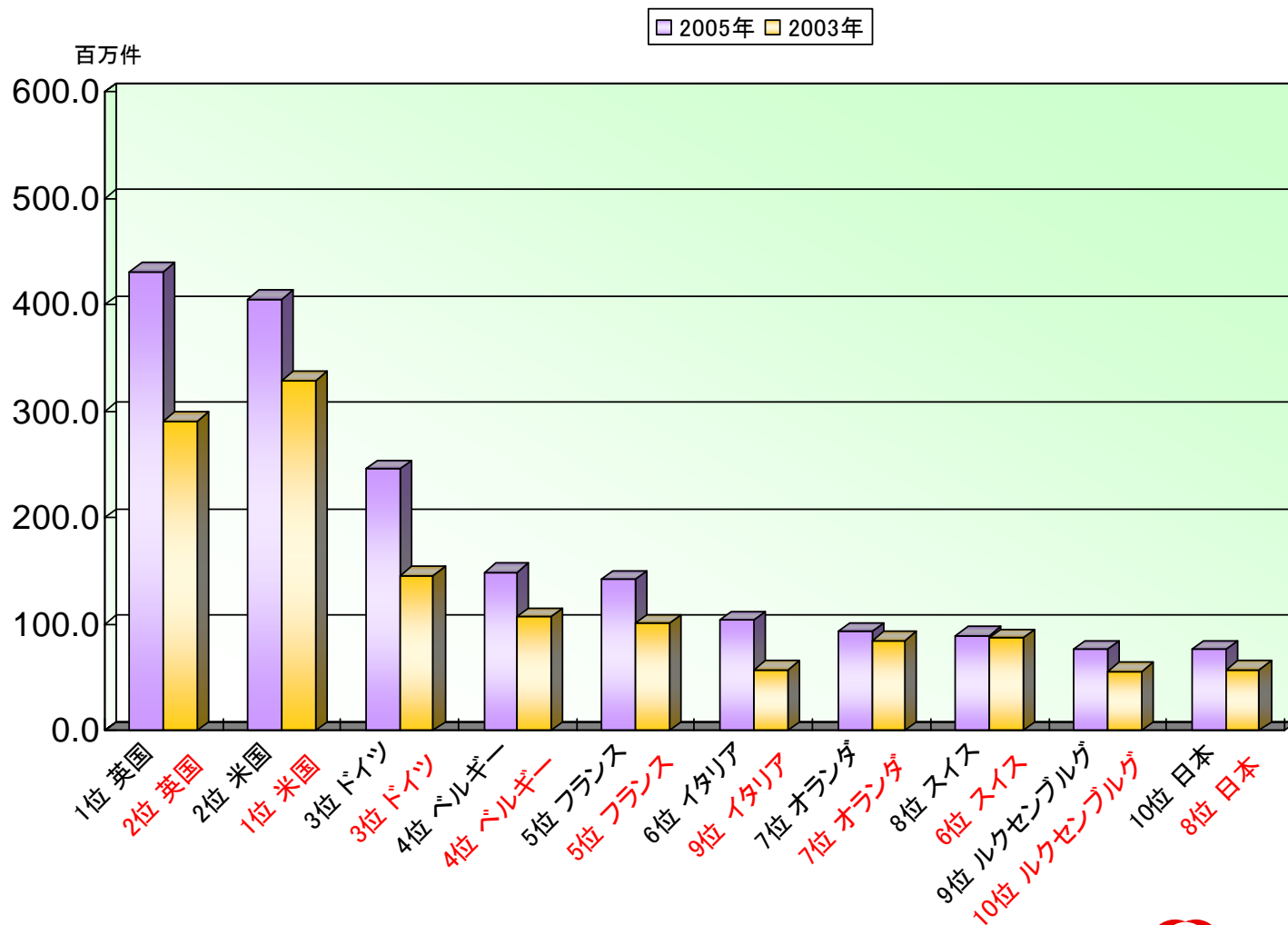


*データはFIN総送信通信量ベース



三菱東京UFJ銀行

2003年/2005年通信量 国別ランキング



ランキング

黒字:2005年

赤字:2003年

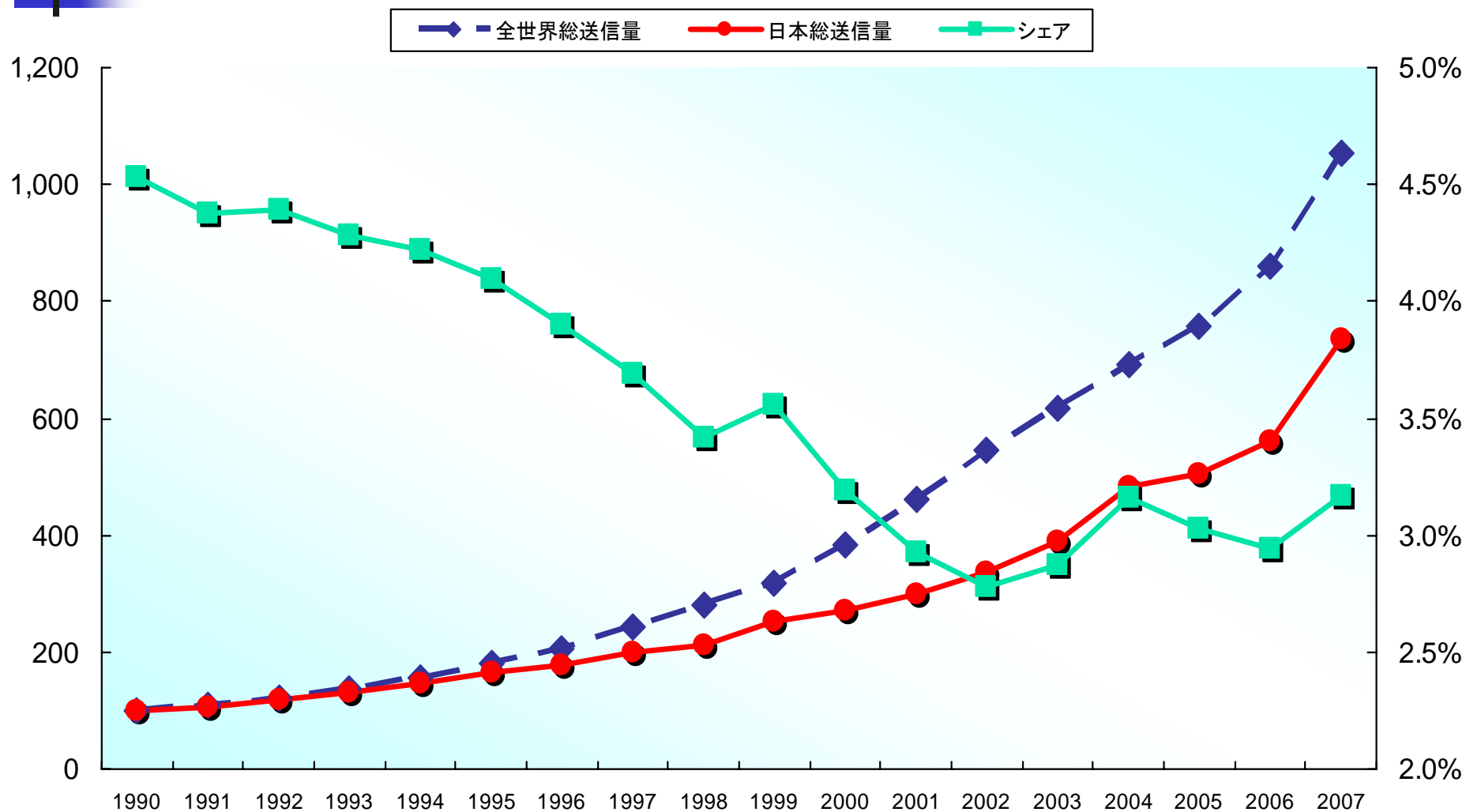


* データはFIN総送信通信量ベース



三菱東京UFJ銀行

本邦スイフト通信量推移とシェア



* データは、1990年の通信量を100とした指数ベース



三菱東京UFJ銀行

スイフト理事 & 理事会 ③

■ スイフト理事の報酬

- 無報酬

■ スイフト理事の責任

- 出身金融機関、出身国、その他特定の金融機関グループの利害に左右されてはならず、独立性の維持が必要
- ベルギー会社法あるいはスイフト内規上の違反については、スイフト及び第三者に対して、他の理事と連帯して責任を負う

■ スイフト理事会の役割

- 戦略的な指針を提示、経営幹部からの報告書をチェック
- 財務諸表の信頼性を担保、外部監査人を選任・監督
- 法規制への遵守状況を監督、適切な内部統制の存在を確認



スワIFT理事会傘下の委員会

財務・人事

The Audit & Finance
Committee

(監査・財務面の監督)

The Human Resources
Committee

(経営幹部報酬の監督)

業務

Banking & Payments
Committee

(ペイメント業務に関する重
要な事項を検討)

Securities Committee

(証券業務に関する重要な
事項を検討)

技術

Standards Committee

(スタンダードに関する技術
面の重要事項を検討)

Technology &
Production Committee

(システム等技術面の重要
事項を検討)

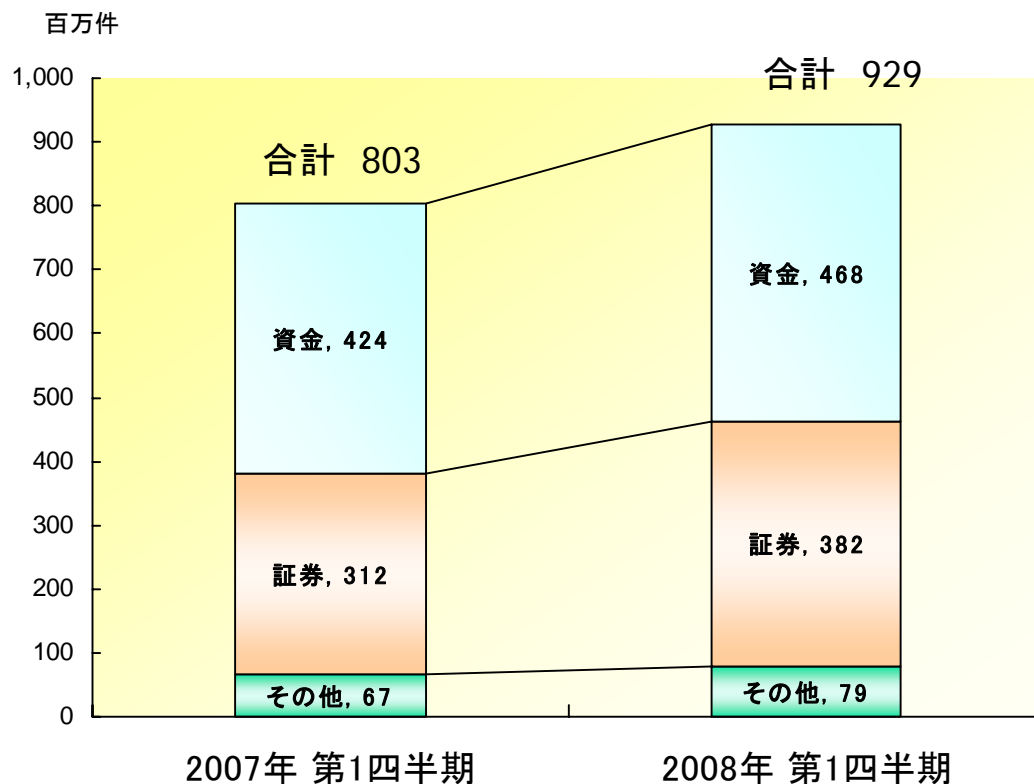


三菱東京UFJ銀行

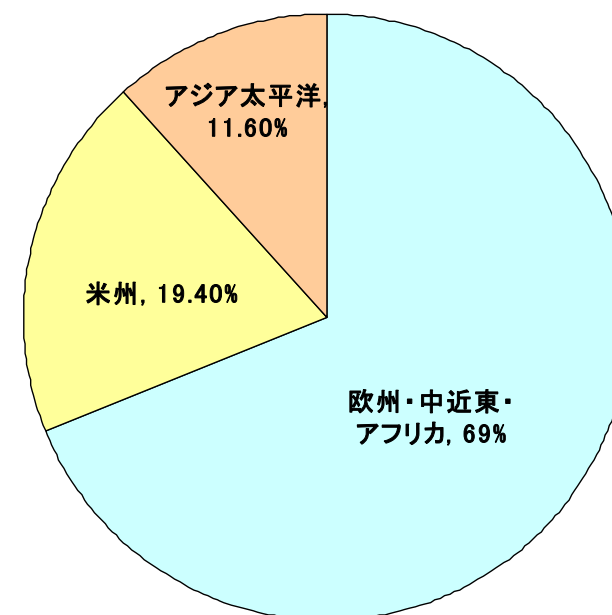
2008年6月スイフト理事会報告 ①

2008年 第1四半期 FIN通信量

◆マーケット別



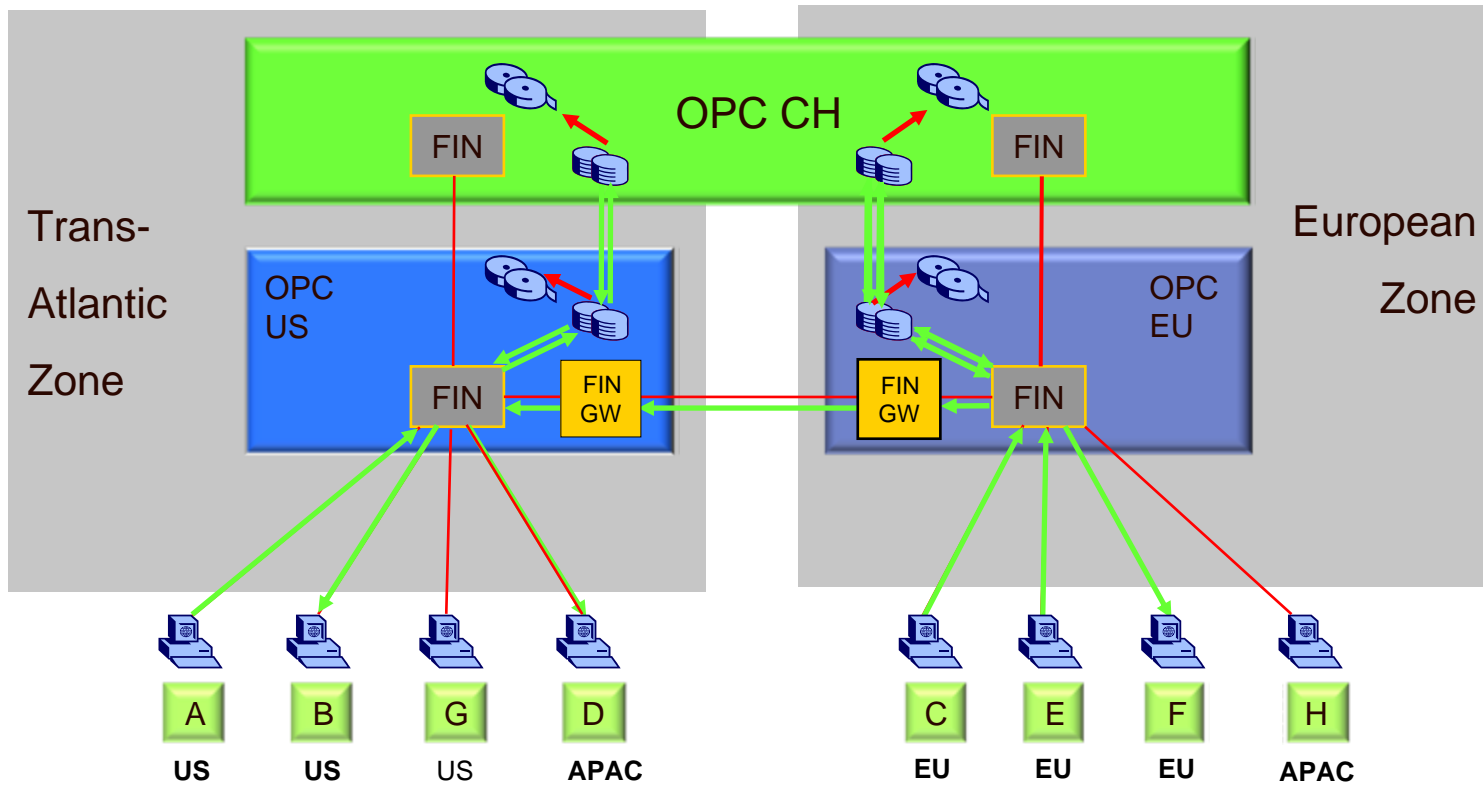
◆地域別



三菱東京UFJ銀行

2008年6月スイフト理事会報告 ②

ネットワーク構成の変更



2008年6月スイフト理事会報告 ③

MT-MX移行計画案(一部抜粋)

種類	MT	MXライブ開始予定 (SWIFTNet)	MX利用開始予定	MT終了予定
顧客送金	102, 103, 202 他	一部2007年3Q (FileAct)	未定	未定
自動引落	104, 107	一部2007年3Q (FileAct)	2010年4Q	2011年4Q
FXコンファメーション	300	2010年4Q	2011年4Q	未定
証券決済・照合	535, 545, 547, 548他	2010年4Q	2011年4Q	2013年4Q目処
コーポレート・ アクション	564-568	2010年4Q	2011年4Q	2013年4Q目処
ステートメント・ メッセージ	900, 910, 940, 950他	2008年4Q(B2S) 2009年4Q(FI)	未定	未定

* 今回は移行計画案に関する議論のみであり、2008年9月の理事会にて承認される予定。



三菱東京UFJ銀行

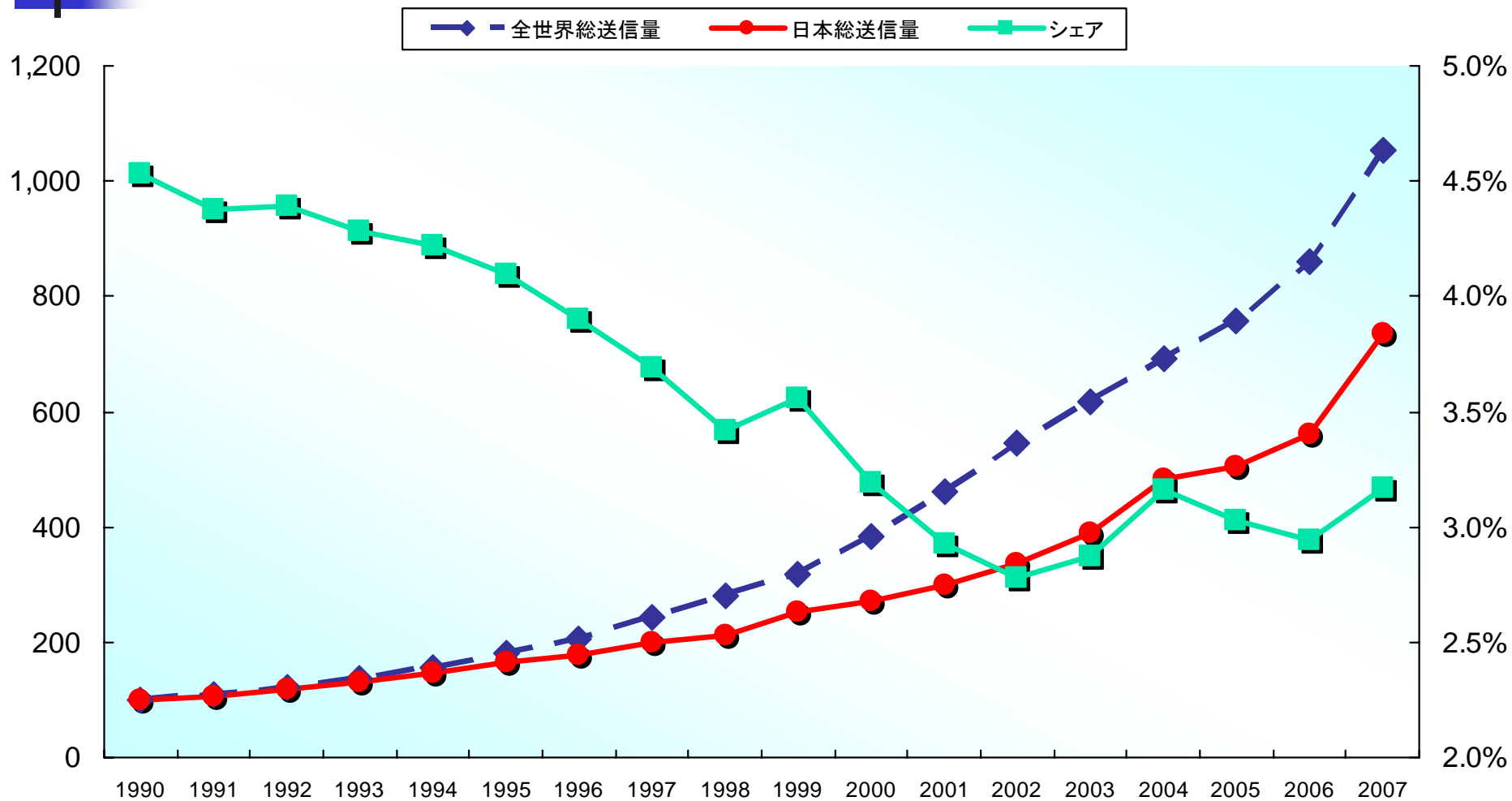
2008年6月スイフト理事会報告 ④

Easy SWIFT

- ユーザーカテゴリーを3グループに簡素化
 - 27グループから3グループへ
- 新規ユーザーの接続に要する時間を短縮
 - 参加手続きを合理化
- コーポレートアクセスの促進
 - SCORE参加基準の拡大
 - サプライ・チェーンへの新たなコーポレート・ソリューションの提供



本邦スイフト通信量推移とシェア



* データは、1990年の通信量を100とした指数ベース



三菱東京UFJ銀行

世界の決済システムとスイフトの活用状況

現行欧米決済システム

	TARGET	Euroclear	Clearstream	Fedwire	DTC	CHIPS	ACH
スイフトの活用	○	○	○	×	○(一部)	○	×
スイフトFIN 導入時期	1999年	1981年	1981年	N.A.	2006年	1998年	N.A.

新欧州決済システム

	SEPA	TARGET 2	TARGET 2- Securites
スイフトの活用	○	○	○ (2013年稼働予定)

本邦決済システム(現行)

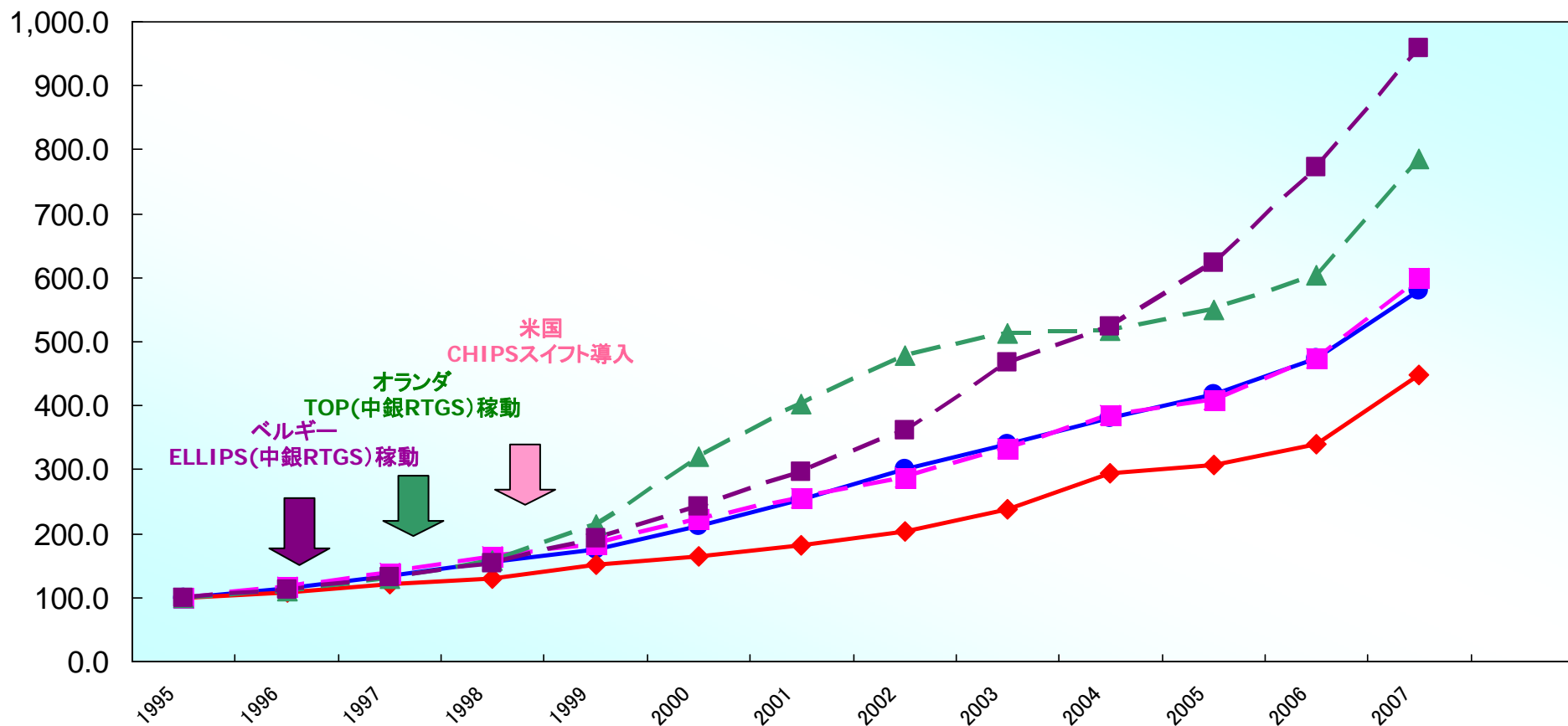
	日銀ネット 当預系	外為円決済シ ステム	全銀 システム	日銀ネット 国債系	証券保管 振替機構
スイフトの活用	×	×	×	×	×⇒△ (決済照合で ISO20022導入予定)



三菱東京UFJ銀行

各国通信量の推移

● 全世界 ◆ 日本 ■ 米国 ▲ オランダ ■ ベルギー



* データは、1995年の通信量を100とした指数ベース

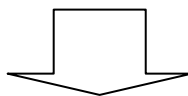


三菱東京UFJ銀行

本邦決済システムの課題

RTGS化、証券DVP化等主要な課題については既に解決済み

今後の主な課題



- 国際競争力の強化
 - ニューヨーク、ロンドンに比肩する国際金融センターの確立
- 国内標準化から国際標準化へ
 - 英文対応
 - AML対策
- 決済システムの効率化
 - ユーザーのSTP比率向上
 - 資金決済システムと証券決済システムの高度な連携 (ISO20022)





国際標準化のメリット

■ 海外ユーザーのメリット

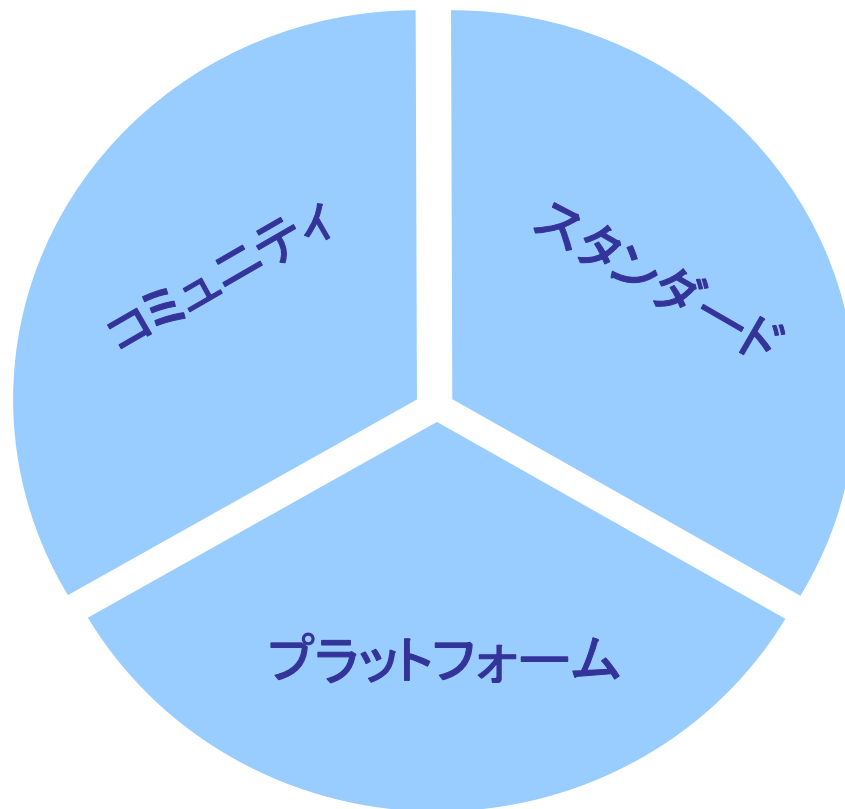
- フォーマットに関する翻訳作業が不要となり、世界第2位の経済規模を有する本邦市場への参入が容易
- エントランスコスト及びトランザクションコストの低減

■ 本邦ユーザーのメリット

- 共通フォーマット化により、将来的なシステム開発に伴うコストが削減
- グローバルスタンダード採用により、開かれた市場をアピール
- 本邦市場から世界市場への進出が容易



ご清聴ありがとうございました



本日の講演での意見や予測等は、講演者の私的見解を示すものであり、今後予告なしに変更されることがあります。当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の売買や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいませよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、弊行はその正確性を保証するものではありません。また、当資料の一部または全部を問わず、弊行の許可なしに複製や再配布することを禁じます。



三菱東京UFJ銀行